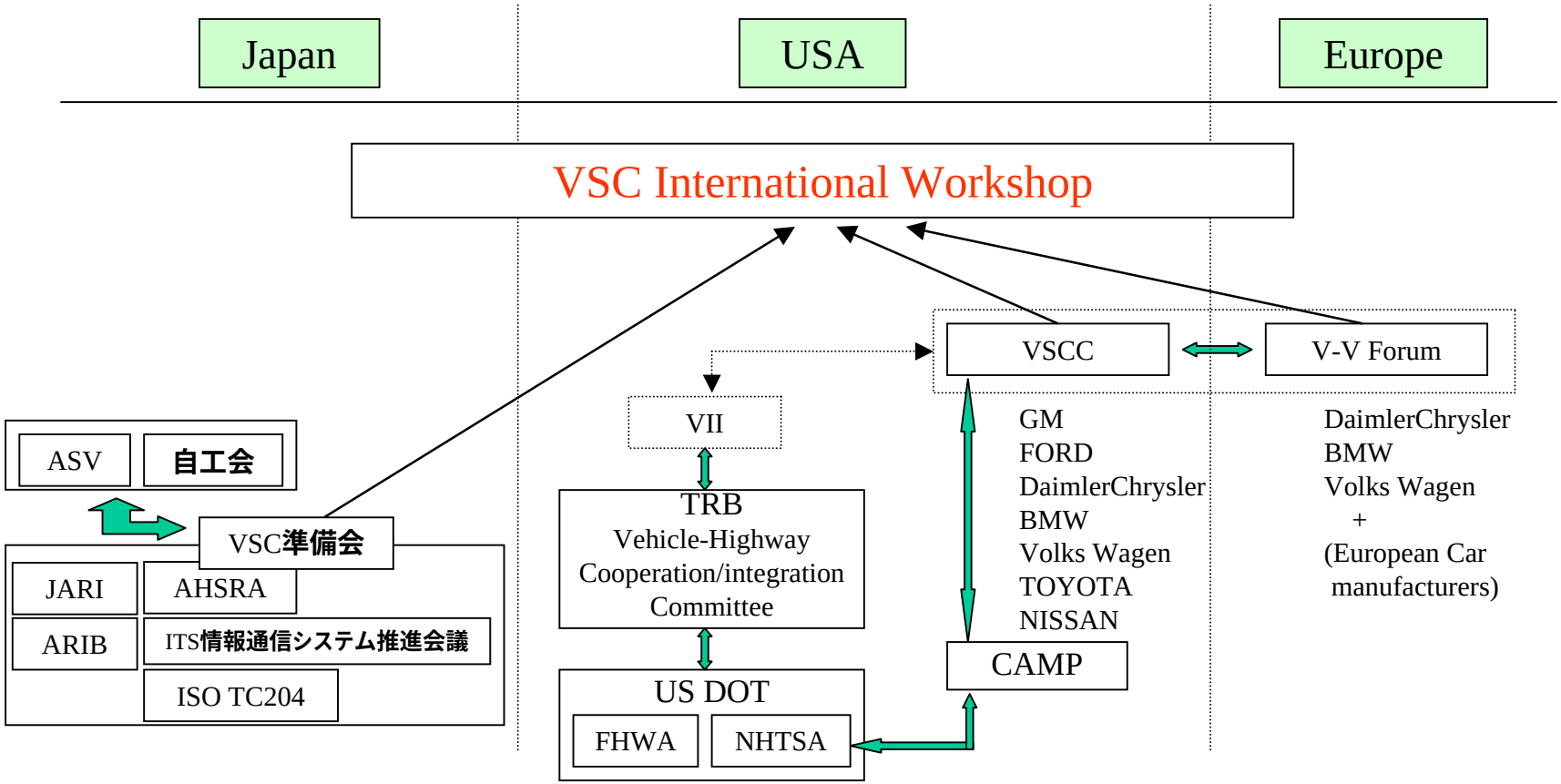
• 研究開発部会 平成15年度活動報告

車々間通信システム専門委員会

平成16年5月7日

車々間通信をめぐる世界の動き

資料1

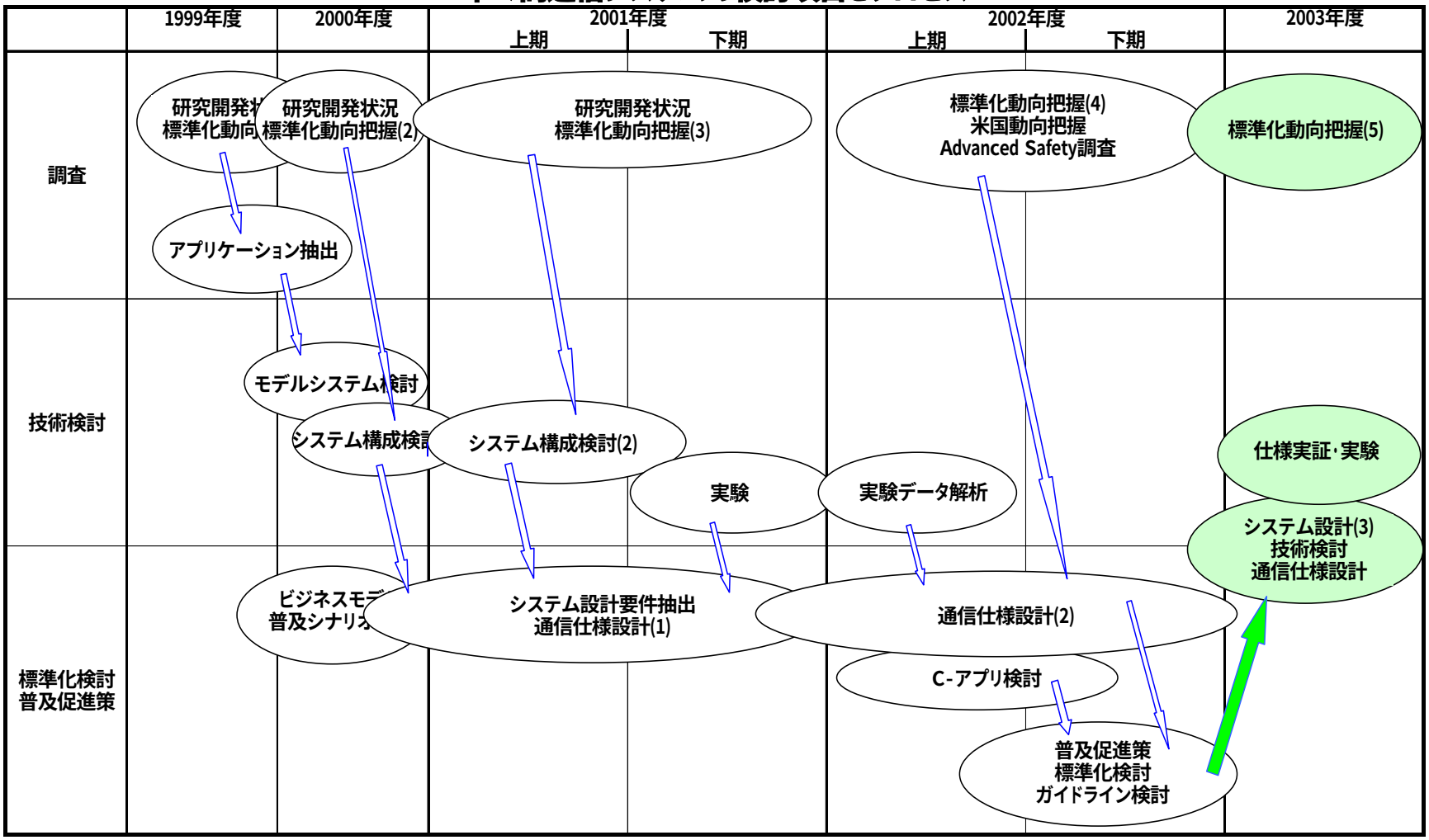


TRB: Transport Research Board
VII: Vehicle Infrastructure Integration
VSCC: Vehicle Safety Communication Consortium

路側通信システム専門委員会/DSRC国際対応TF資料から

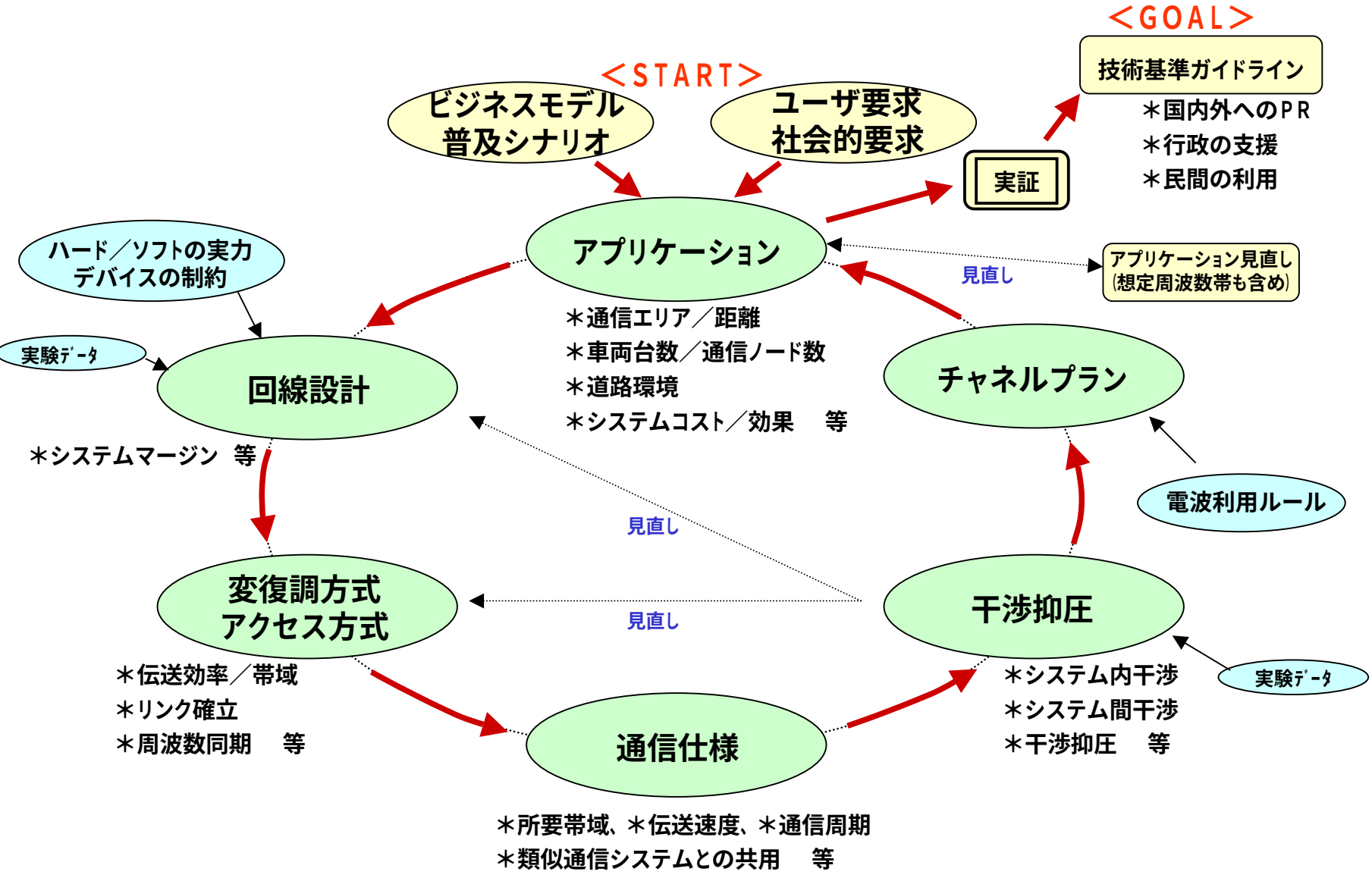
資料2

車々間通信システムの検討項目とプロセス



資料3

システム構成検討手順（v1.4）



平成15年度の主要成果

1．通信仕様の妥当性検証

優先アプリケーションを意識した電波伝搬実験

公開資料を基に伝搬特性の調査分析

2．車々間通信ネットワークの検討

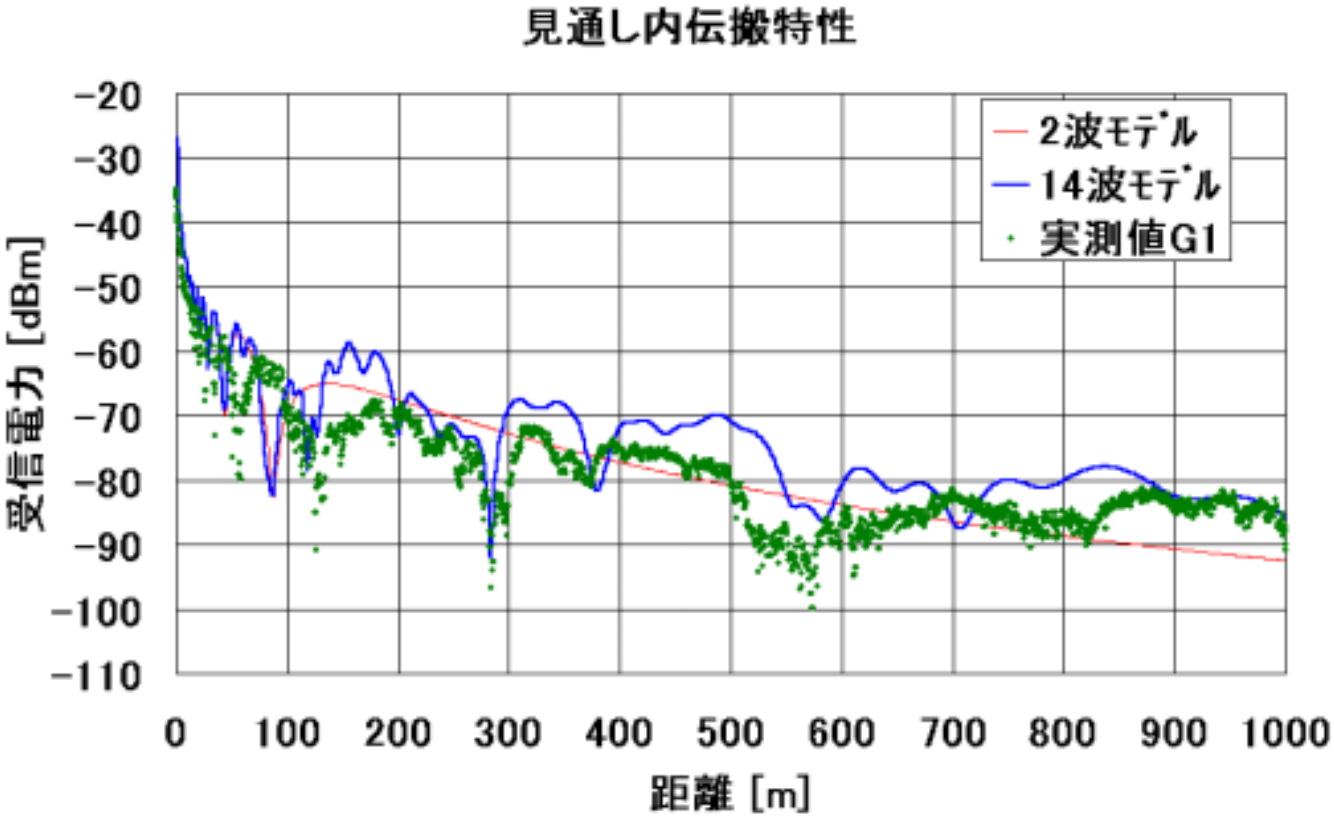
データホッピング、QoS、プロトコルスタック、等

3．ASV（Advanced Safety Vehicle）検討グループ、

JARI/車車間通信システム標準化分科会との連携

3者で共同実験、データ分析、等

妥当性検証実験データ (1)

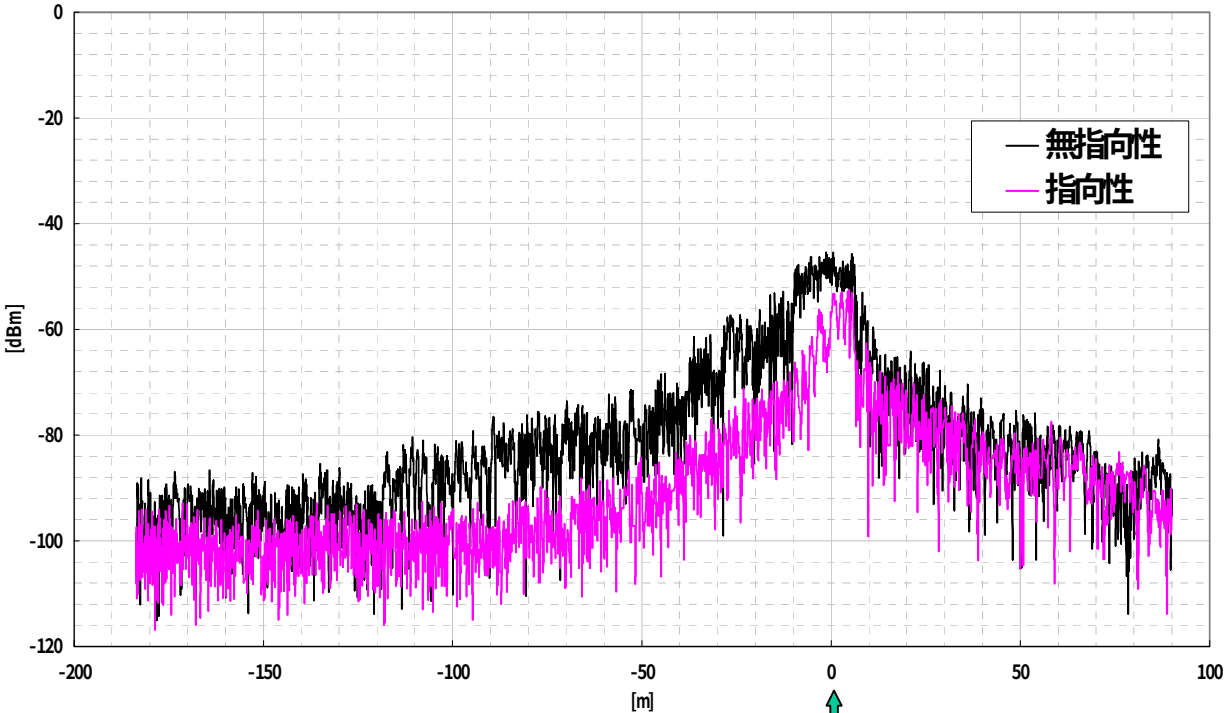


実験データはASV検討グループ&JARIからの提供

妥当性検証実験データ (2)

見通し外伝搬

無指向性－指向性アンテナの比較<5.8GHz>
見通し外/タイヤ棟/台車/送信位置5m

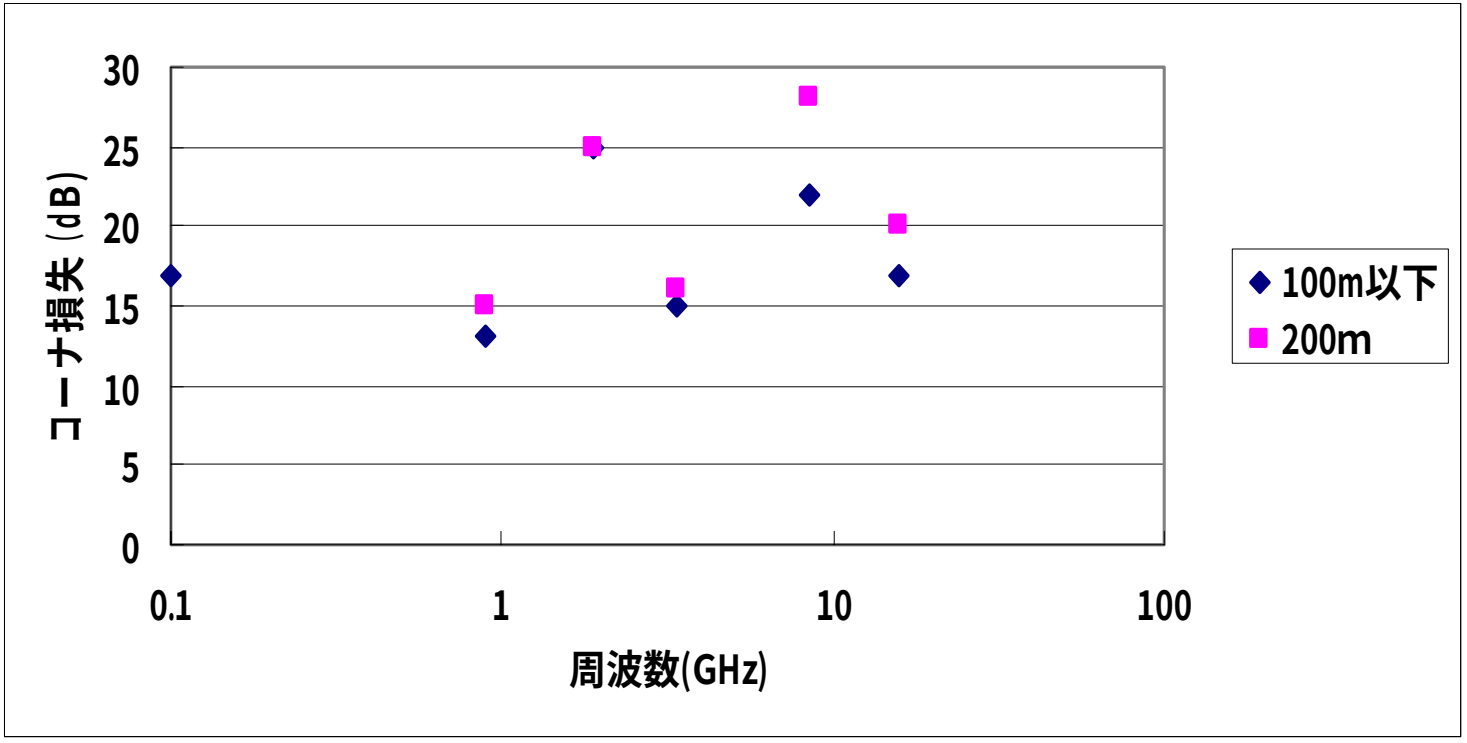


見通しの悪い交差点

実験データはASV検討グループ&JARIからの提供

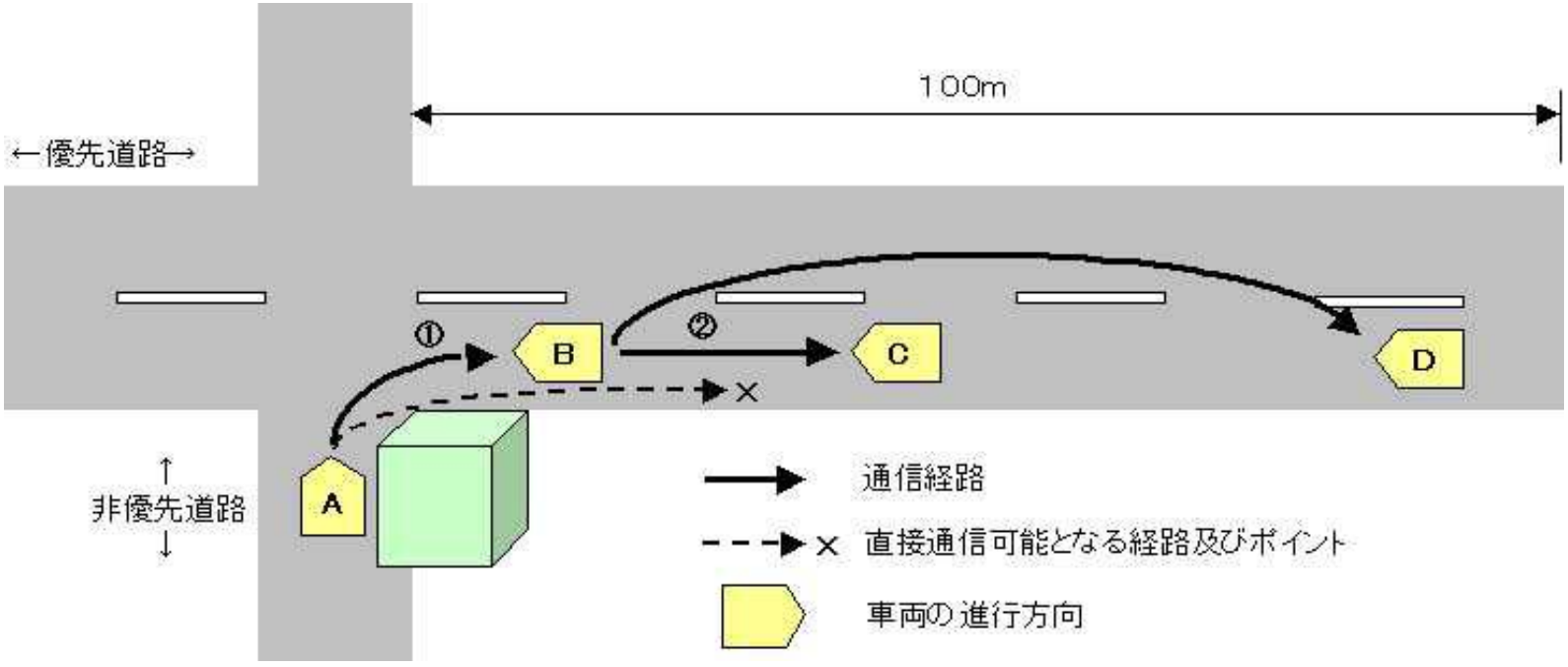
電波伝搬特性の調査分析

見通しの悪い交差点におけるコーナ損失の周波数依存



通信ネットワーク検討

データ・ホッピングの効果



他機関とのリエゾン活動

1．DSRC国際対応タスクフォース

－ VSCC, V-V Forum, IEEE, 等 規格化情報取得

2．先進安全自動車（ＡＳＶ）検討グループ

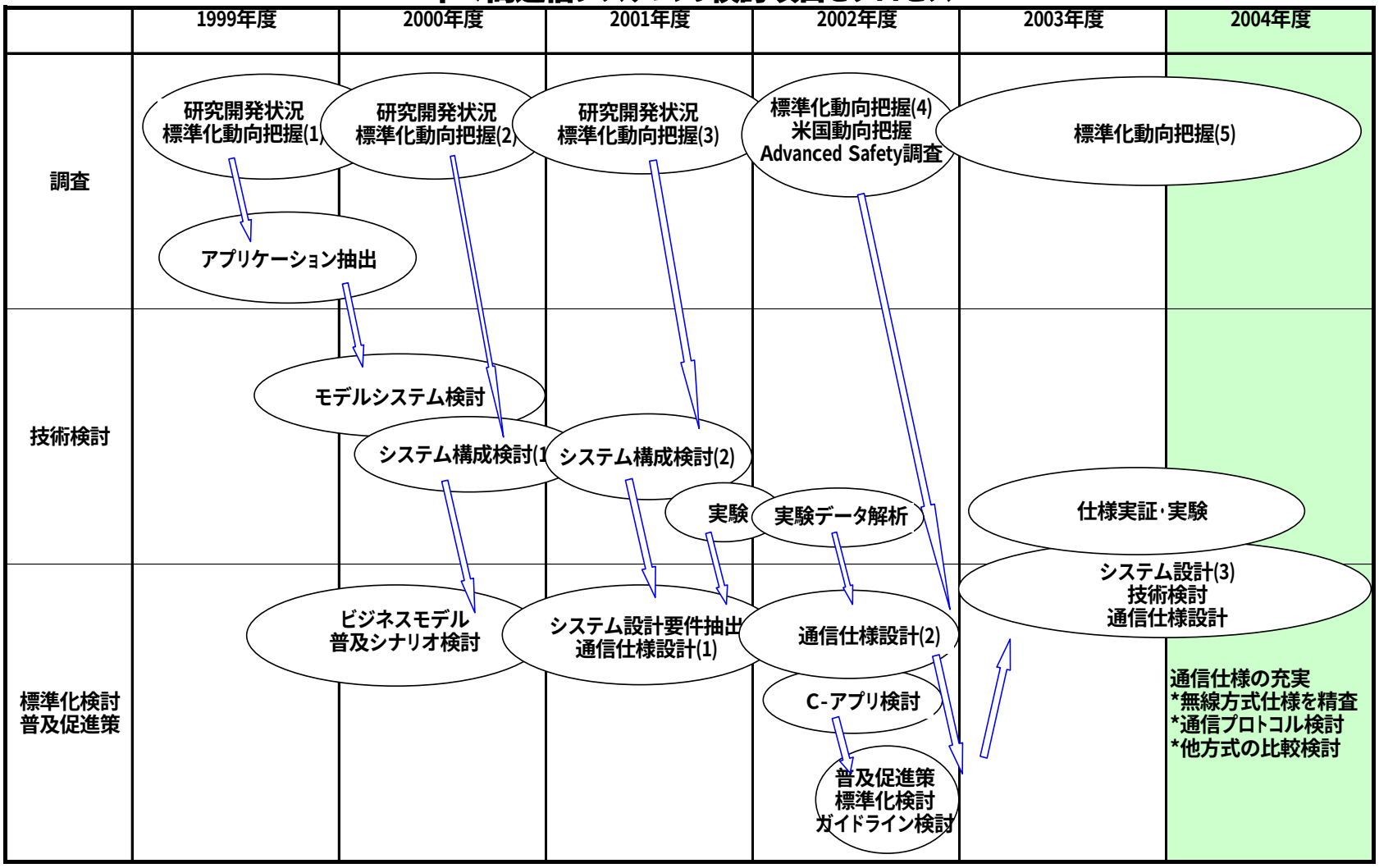
－ 共同実験

－ 車々間通信関連データを取得

3．その他

－ 走行支援情報通信システム国際セミナ

＆ワークショップ参画

資料10

車々間通信システムの検討項目とプロセス